

長浜市バレーボール協会

I 長浜市バレーボール協会のあゆみ

長浜市は、天正年間に羽柴秀吉（のちの豊臣秀吉）が「今浜」を長浜に改名し、小谷城下などの商人たちを集めて、楽市である城下町を作ったのが始まりで、近畿・東海・北陸の経済圏の結節点として栄えてきた歴史ある地である。平成18年に1市2町、平成22年に1市6町の合併により、滋賀県北東部の琵琶湖東岸に位置する広面積の市となった。古くからスポーツが盛んであり、その中で長浜市バレーボール協会は昭和25年頃、市民同好の人達が中心になって陸上、野球、庭球、卓球、ヨット、漕艇等とともに設立された。昭和39年文室定次郎会長就任と同時にバレーボールの県体を積極的に誘致し、市民体力づくりの向上に寄与した。

昭和40年代には各企業の業績向上にともないスポーツにも熱が上がり、ヤンマーディーゼル長浜、三菱樹脂、鐘紡、近江ベルベット、ヤンマーディーゼル木之本など湖北一般の部の全盛期を迎え、バレーコートも豊公園に6面新設されるなど県・市の協力を得て強化策がとられた。また各カテゴリー（一般・高校・中学校）においても、湖北長浜勢の力は近畿大会、全国大会へ勢力を伸ばした黄金時代であった。

今まで湖北の地で育った選手のなかには、藤田幸光氏（元全日本選手）や藤森孝司氏（ジュニア選手権日本代表）などバレー界のトップで活躍する選手もたくさん輩出され、中高年から若者までバレーボールに親しむ人々が多い土地柄である。

II 各カテゴリーにおいて

一般の部においては、男女ともここ5年近くは熱心に活動をしている社会人チームもほとんどなく、県民体育大会への出場も厳しい状況であったが、近年は地元の小中高でバレーを続けてきた若者への声かけにより、20代を中心としたチームも結成され、週2回ほどの練習を重ねているチームも出てきた。その成果もあって、県民体育大会一般男子の部において、昨年の第67回大会で準優勝、今年の第68回大会では優勝を飾るなど都市対抗において上位の成績を収めている。

高等学校の部においては、過去に長浜商工高（現 長浜北星高）が全国高校総体で昭和52年から昭和60年まで9年連続出場を果たしている。この中でも昭和52年には滋賀県で初めて3位に入り、昭和53年準優勝、昭和54年の滋賀総体でも3位となり3年連続で全国ベスト4に入る快挙を成し遂げている。

現在市内には長浜北高・長浜高・長浜農業高・長浜北星高・虎姫高・伊香高の6校が活動されているが、部員の減少などにより男女ともにバレーボール部が存在している学校も減ってきている。特に男子ではここ数年、合同チームを組んで大会に出場しているところもあり、部員の確保に大きな課題を抱えているのが現状である。



昭和52年 長浜商工高 高校総体3位

中学校男子においては、昭和40年代頃から市内の男子バレーボール部の活躍はめざましく、県内のみならず近畿・全国の中学バレー界のリーダー的存在にいったといえる。中でも基本に忠実で鍛え抜かれた堅実なバレーを展開する長浜東中男子バレーボール部は、県大会で春13回、夏11回優勝という県内最多記録を残している。長浜西中も準優勝以上の回数は長浜東中

に次いで多い。そして長浜東中は近畿大会において春3回、夏には4回優勝を飾り、また今年で第45回を迎えた全日本中学バレーボール選手権大会には過去14回出場（最近では平成24年に出場）し、昭和58年には滋賀県初となる全国優勝の偉業を成し遂げている。

旧市内の4中学校（東中・西中・南中・北中）においては、先輩方の伝統を引き継ぐべくチームが存続されているが、旧市外のびわ・浅井・高月・木之本など、かつて名選手が育ってきた地域では男子バレーボール部が部員不足により廃部となっている。現会長の呼びかけにより平成26年8月、市内の小中学生を対象に「湖北イーグルス」を設立し、バレーボール部の無い地域の小中学生が活動できるクラブチームを立ち上げた。現在13名の選手と数名のスタッフが活動に取り組んでいる。

市内の男子バレー部員の減少など、いろいろな課題をかかえているが、今後とも各チームが切磋琢磨しながら強化を図り、素晴らしい成績を残してくれることを期待する。

中学校女子については、6人制に移行して以来、残念ながら県制覇をするに至っていないが、チーム数の減少はほとんどなく、年2回の強化練習会を開催するなど、各チームが存続しながら強化を図っている。近年では高月中や長浜南中など県大会の上位へ進出するチームも出てきた。

小学校の部においては、男女併せて20チーム近くのジュニアチームが設立されているが、部員不足で悩んでいるチームがある一方、なかには部員が50名を超える大所帯のチームもある。基礎練習に徹底して取り組まれるなど、長浜市のバレーを支える大きな存在となっている。小学校・中学校でバレーボールを続けて、JOCジュニアオリンピックカップ全国都道府県対抗中学バレーボール大会に県代表として選ばれる市内の選手も多く、ここ5年間では約30名近くが選抜チームに選出されている。



昭和58年 長浜東中 全日本選手権優勝

III 長浜市バレーボール協会の取り組み

Vプレミアリーグで活躍しているパナソニックパンサーズの選手・スタッフを講師にお迎えして開催している「湖北バレーボール指導者講習会」も、今年で38回目を迎えた。この講習会には毎年、選手や指導者など200名を越える参加者があり、日本のトップレベルのバレーを身近で学んだり体験することで、各チームや長浜市のバレー全体のレベルアップに大きく貢献している。

さらに「長浜市小中高バレーボール交流大会」も今年で8回目を数えることとなった。毎回、長浜西中学校と長浜小学校の体育館をお借りし、隣接している会場を各チームが行き来しながら市内の各カテゴリーの交流を図り、競技力向上に貢献している。

今後もこれらの事業を継続しながら長浜市内のバレーボール人口の増加と発展を願い、また県体・国体等への強化育成を図るとともに、諸先輩方の指導を賜りながら伝統ある長浜のバレーを継承できるよう、協会としてバレー界の伸展・貢献に尽力・寄与したいと考えている。



第38回湖北バレーボール指導者講習会の様子